

第189回日本経営倫理学会・理念哲学研究部会例会議事録

会長・宇佐神

日時：2014年6月2日（月） 18:00-20:00 場所：学士会館308号室

出席予定：緒賀、佐藤（陽）、辻井、村山、山本、宇佐神

欠席連絡：新川、古山、長塚

1. 2014年6月以降の例会等の日程は以下の通りです。

- ① 7月7日（月）18:00-20:00 学士会館308号室
- ② 8月2日（土）12:00- 土曜昼食会（今後、3カ月に一回、土曜日に研究と昼食を兼ねた会を設定する）
- ③ 9月1日（月）18:00-20:00 学士会館308号室
- ④ 10月6日（月）18:00-20:00 学士会館308号室
- ⑤ 11月3日（月・祝）18:00-20:00 学士会館308号室
- ⑥ 12月1日（月）18:00-20:00 学士会館
- ⑦ 1月5日（月）土曜昼食会の予定

2. 議事：

1) 土曜昼食会の設定とその予定について：

2) 部会長の任期について：2015年3月で現部会長は任期を終え、4月より新部会長が就任する。

3) 今後の予定について

① 『21世紀〈経営の倫理〉』の作成について。

② 今後は例会における発表の原稿化に取り組むこと

12月例会における佐藤陽一：「基本的認識と企業の在り方」の概要の作成

2月例会における辻井清吾：「仏教とキリスト教の倫理上から見た比較」の概要の作成

3・4月例会における山本毅：「人類的思想の21世紀への歩み」（仮題）

5月例会における古山英二：「経営倫理学という学問について」

これらは、発表後、文章化し、『21世紀〈経営の倫理〉』に向けての準備とする。

4) 7月以降の発表者について：積極的に申し出てください。関連図書を推薦ください。

7月の研究部会は、7月度研究交流例会（7月12日（土））{講師：岩井克人氏}に備え、岩井克人『二十一世紀の資本主義論』（ちくま学芸文庫）の合同学習会とする。出席者はできるだけ同書を一読の上、ご出席ください。

3. 本日の研究発表：

『21世紀〈経営の倫理〉』の全体的構想について：宇佐神

問題提起：今日、宇宙のホリスティックな〈いのち〉の展開の解明により、人間の宇宙における地位が明確になり、その全容が見通しうる段階に到達した。この事態は、21世紀を生きる人類に、経営倫理上の画期的な課題を提起している。これは、138億年にわたる宇宙のいのちへの歩み、太陽系における地球と生命の誕生、現生人類の出現、人類の地球上への拡散と生態系への責任を明確にしつつ今日に至っている。この過程は、宇宙物理学における人間原理の確立と地球における生命誕生の解明、人類の歴史的形成にいたる全過程を明らかにしている。それは、古生物学者ピエール・ティヤール・ド・シャルダンが1938年に展開した『現象としての人間』を実証的に確認する歩みでもあった。この問題に宇佐神に係るに至った経緯を「いのち」という概念との出会い、和辻倫理学等との対話を通して見出してきた過程を提示し、人間の21世紀の人類の地球経営における倫理的責任を提示した。

以上を「〈いのち〉のホリスティックな把握を求めて」（添付文書参照）に従って報告した。

以上